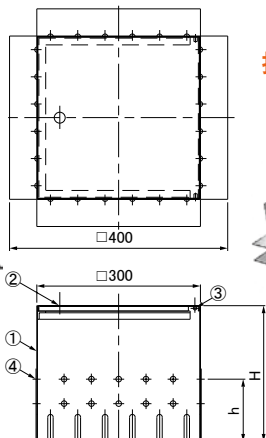
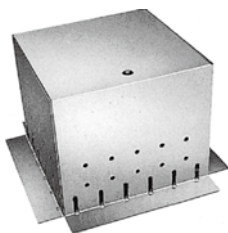


プランタードレイン

プランタードレインボックス

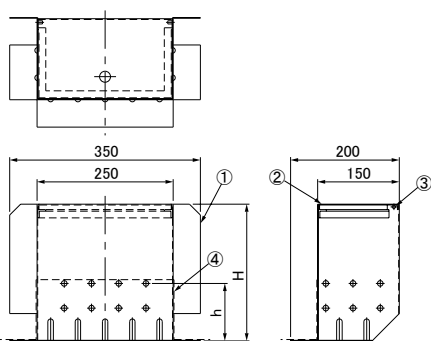
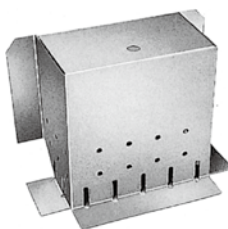
PDCT

たて口ドレイン用



PDCL

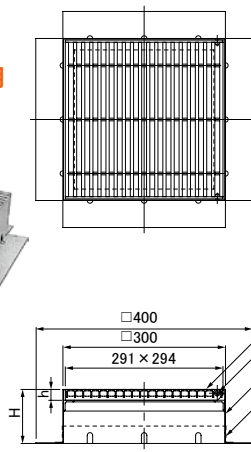
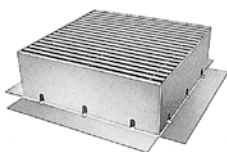
よこ口ドレイン用



プランタードレインカバー

PDGT

押えコンクリート用



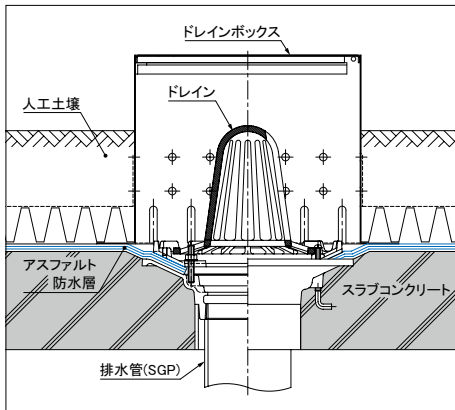
●ドレインボックスの固定方法

両面テープ等をご使用ください。(別途)

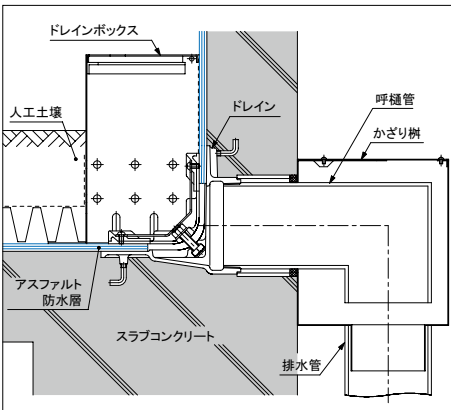
●ドレインカバーの特長

- 1.排水蓋はノンスリップのため、雨の日も安全に歩行できます。
- 2.蓋はピンヒンジ方式による本体との一体式です。点検・清掃時に簡単に開閉ができます。

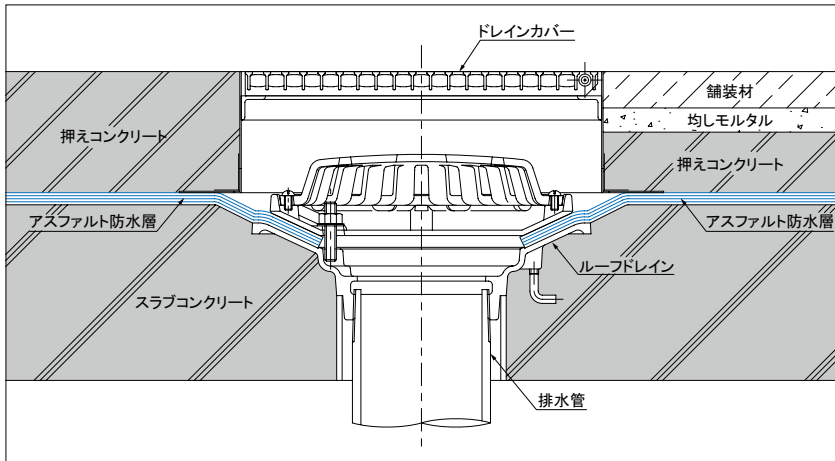
●PDCT 施工例



●PDCL 施工例



●PDGT 施工例



●屋上緑化について

都市環境悪化と問題点

大都市の環境悪化は、特に東京圏に激しく影響が見られる。東京の気温は年々増加する一方で、湿度は年々低下し、真夏日および熱帯夜の日数も増加するというヒートアイランド現象の影響が顕著に現われている。また、工業地帯や、過密化した路上の自動車から排出される汚染物質によって、巨大なダストドームの原因を成している。これらの都市環境悪化を改善することが、必要とされ、各方面から対策が寄せられている。汚染源を出さないことが必要であるが、更に都市の環境を基本的に改善することが必要とされている。改善の方法として、緑と水の効果的導入が必要とされている。そのためには、ビルの屋上も含めた地表面の緑化被覆が効果がある。緑化率が高い地区ほど夏季の日中の地表面温度が低いという結果になっている。また、緑化による大気の浄化作用も大きい。東京が緑のストックを増やせば、木々の葉は水分の蒸発散により夏の東京を涼やし、冬の東京に潤いを与えてくれる。

(屋上緑化に関する調査報告書平成元年9月引用)

●プランタードレインについて

ビルの屋上を緑の空間として利用することは、大気の浄化を促進し、都市環境を保全し、建物全体の断熱効果高め、都市景観の向上に寄与するという絶大の効果をもたらします。

プランタードレインは屋上緑化の一部である防水と排水を担うもので、ルーフトレインをステンレス製ボックスでカバーし、ボックス上部にはメンテナンス用の回転点検蓋を設けています。また、ボックスには特殊フィルターを装備し、排水管の目詰まりの原因となる土壌や落葉などの流入を阻止し、スムーズな雨水排水を可能とします。

●適用ドレイン

PDCT (たて口ドレイン 適用寸法 75A・100A)

RVPC-K・RVPD-K 1-14ページ

SRA-1CK・SRA-1DK 1-62ページ

PDCL (よこ口ドレイン 適用寸法 75A・100A)

RL-4SL-K 1-49ページ

SR-AK・SR-ALK 1-68ページ

PDGT (たて口ドレイン 適用寸法 50A・75A・100A)

RVPD-K 1-14ページ

SRA-1DK 1-62ページ

●備考

防水層施工貼り代100mm用も対応できます。別途お問い合わせください。

●共通部品表

No.	部品名	材質	備考
①	本体		—
②	点検蓋	SUS304	ヘアライン
③	回転軸		—
④	フィルター	ポリエステル	—
⑤	排水蓋	SUS304	—

●寸法表

型式	呼称寸法	H mm	h mm	質量 kg
PDCT	300×300×150	150	70	3.5
	300×300×250	250	115	4.5
	300×300×350	350	160	5.6
	300×300×450	450	205	6.6
PDCL	250×150×250	250	115	2.2
	250×150×350	350	160	2.8
	250×150×450	450	205	3.3
PDGT	300×300×100	100	20	5.0

●土盛り高さ適用機種(参考)

土盛り高さ mm	木の種類	適用機種	
		PDCT(たて口用)	PDCL(よこ口用)
100	芝生	300×300×150	—
200	低・中木	300×300×250	250×150×250
300	低・中木	300×300×350	250×150×350
400	高木	300×300×450	250×150×450